

2021 年度
事業報告書／収支決算書

自：2021 年 4 月 1 日

至：2022 年 3 月 31 日

公益財団法人 現代人形劇センター

理事長 塚田千恵美

神奈川県川崎市中原区井田 3-10-31

公益財団法人 現代人形劇センターは 2021 年度（令和 3 年度）事業を下記のように実施しました。

1・出版・刊行事業

2・伝統人形劇の研修及び研究講座の開催とその援助

- A. 乙女文楽・後継者育成講座の開催
人形操演講座 1回 桐竹勘十郎

3・伝統人形劇の人形修理と製作

- A. 尻高人形の修理。
尻高人形錦松会の依頼で、カシラ、手、足の修理を行いました。

4・国内・海外人形劇の調査

5・関係団体との事業提携と後援

- A. NPO法人飯田人形劇センターの活動に協力しました。

6・センター資料の整備

7・各種人形劇活動への参加と協力

- A. いいだ人形劇フェスタ 2021 への後援を行いました。

8・現代人形劇研究事業

9・企画制作事業

<乙女文楽>

- A. 公演と講座（委託事業）を以下のように行いました。

①子ども体験塾 イタリア・ジャパンキッズシアター

・公演

2021年11月28日 くにたち市民芸術劇場小ホール（東京都国立市）

演目 「義経千本桜」道行初音旅 / 「傾城阿波の鳴門」順礼歌の段

・ワークショップ

2021年10月30日、31日 ひとみ座スタジオよりオンライン配信

対象：武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市の在住小中学生と保護者

主催：5市（武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市）共同事業実行委員会

②リリース芸術大学伝統芸能学部「乙女文楽入門」

2021年8月28日 横浜市栄区民文化センターリリース（横浜市栄区）

内容：「二人三番叟」上演、人形の仕組みと遣い方

主催：横浜市栄区民文化センター

③展示と上演

「乙女文楽 ～開花から現在まで～」

2021年10月18日～12月18日 大阪大学総合学術博物館

・展示

乙女文楽の人形、用具、資料を出展しました。

・実演と人形解説

2021年12月18日 大阪大学会館

主 催：大阪大学総合学術博物館

共 催：大阪大学大学院文学研究科

④日仏婦人会ワークショップ

2021年4月13日 ひとみ座スタジオ

主 催： 日仏婦人会

⑤洗足アートプロジェクト

2021年11月15日 洗足学園中学高等学校（川崎市高津区）

中学生、高校生に向けた、乙女文楽体験型講座

B. 第11回ひとみ座乙女文楽公演を、主催しました。

2022年1月22日、23日 川崎市国際交流センター（神奈川県川崎市）

「増補大江山酒吞童子」戻橋の段／「傾城恋飛脚」新口村の段

公演数：4回

観客数：300人

助 成：日本芸術文化振興会

※公演終了後、全編、無料動画配信を行いました。

2022年3月15日～31日

C. 乙女文楽各座合同研修講座

東西の乙女文楽の座の合同研修講座

2021年12月25～26日 ひとみ座スタジオ（川崎市）

2022年3月5～6日 井田共和会館（川崎市）

参加者：乙女文楽座（大阪）

ひとみ座乙女文楽

助 成：次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

D. 地域交流公演を以下のように主催しました。

①川崎市高津区・地域交流公演

2021年8月1日 高津区役所 「親子で楽しむ乙女文楽」

10月16日 大蓮寺 本堂 「お寺で！古民家で！楽しむ乙女文楽」

10月17日 澁谷農園母屋 「同上」

参加者：合計約79人

共同主催：川崎市高津区（市民提案型協働事業）

②川崎市・老人福祉施設での上演（3箇所）

2022年3月4日 ひらまの里（川崎市中原区）

3月7日 おだかの郷（川崎市高津区）

3月11日 みんなと暮らす町（川崎市幸区）（以上特別養護老人ホーム）

参加者数：約90人

助成：文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業）

※COVID-19感染予防のため施設訪問が行えず、オンライン配信を行いました。

③川崎市高津区内での学校交流ワークショップ（4校）

2021年6月～11月

6月17日久本小、6月18日末長小、

10月20日坂戸小、11月5日上作延小（各校2回）合計8回

参加者数：約542人

共同主催：川崎市高津区（市民提案協働事業）

④大人向けワークショップ

2021年7月21日、22日、23日、28日

参加者数：11人

助成：文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業）

※COVID-19感染予防のため、対面から変更して実施。

E. 第14回ひとみ座乙女文楽教室を主催しました。

2021年7月28日～8月22日 ひとみ座スタジオ（全8回）

助成：文化庁・伝統文化親子体験教室事業、神奈川県

内容：初級クラス「二人三番叟」、

上級クラス「傾城阿波の鳴門」

特別クラス「二人三番叟」（上級版）

発表会観客：30人

F. 乙女文楽教室修了生の会による上演を行いました。

2021年6月27日 すくらむ21まつり 川崎市男女共同参画センター

12月19日 読書普及公演会 川崎市立中原図書館

2月11日 かながわ伝統文化こども歳時記

神奈川県立青少年センター

出演者数：のべ9人（高校生2人、大学生2人、社会人1人）

観客数：合計350人

助成：文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業）

<いいだ人形劇フェスタ2020への協力と参加>

いいだ人形劇フェスタは、COVID-19感染予防のため参加劇団、参加者を長野県内に限って開催されたため、上演参加は中止となり、後援のみ行いました。

<各種人形劇の企画・制作>

A. にぎわい交流館いわつきで、江戸糸あやつり人形の公演を行いました。

5月3日 にぎわい交流館いわつき (埼玉県岩槻市)

公演回数：2回

観客数：60人

主催：にぎわい交流館いわつき

<展覧会・催事>

A. 中国の影絵人形展「陝西皮影の世界」

展示構成に協力しました。

2021年9月17日～11月7日 日中友好会館美術館

内容：陝西省の影絵芝居の人形展

主催：(公財)日中友好会館

B. 日本のからくり人形展に協力しました。

所蔵のからくり人形を出展し制作しました。

2021年9月28日～10月6日 九州国立博物館

主催：九州国立博物館

C. からくり人形手作り教室

2021年11月22日 ひとみ座スタジオ

南アルプス子どもの村小学校の生徒約25人

<伝統人形芝居の人材育成>

A. 島根県益田市の「益田糸あやつり人形保持者会」の後継者育成プログラム

2022年1月～3月

講座 義太夫節・三味線、(講師 竹本越孝、鶴澤駒治) 4回

演目 「鎌倉三代記」三浦別れの段

主催 (公財)しまね文化振興財団

10・海外交流事業

A. ろう者の参加する日本とラオスの人形劇団共同ワークショップを、オンラインで開催しました。

目的：ろう者の参加する人形劇団がともに表現の可能性をさぐる

参加劇団：日本・デフ・パペットシアター・ひとみ

ラオス・劇団カオニャオ

日程：2021年9月6日～17日 ひとみ座スタジオ

発表公演：2021年9月18日 川崎市国際交流センター

共催：川崎市

助 成：国際交流基金、赤い羽根共同募金会

B. カンボジアの影絵芝居 学校ワークショップ

2021年12月6日 川崎市立井田小学校

対 象：小学3年生 150人

講 師： 福富友子（カンボジアの影絵芝居研究者、伝承者）

C. オンライン対談「アジアセンタークロストーク」に協力しました。

東南アジアと日本のアーティストのオンライン対談（全10回）のうち、次の2回に協力しました。（配信2022年3月開始）

①パフォーマンス編<ラオス×日本>

ラオス： 劇団カオニャオ主宰 ラタナコーン・インシエンマイ

日 本： モモンガコンプレックス主宰 白神ももこ

②伝統芸能編2<カンボジア×日本>

カンボジア：影絵芝居 ティーチアン一座座長 チアン・ソパーン

日 本： 東二口文弥人形浄瑠璃保存会 土井下悟史、山口久仁

主催：国際交流基金アジアセンター

11・デフ・パペットシアター・ひとみの活動

<公演>

A. 「河の童」

全国4か所で公演しました

①東京江戸川区公演・小松川さくらホール（2回）（主催公演）

助成：J-LODlive（コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金）

②その他、しんゆり芸術祭（川崎市麻生区）、埼玉県寄居町、千葉県佐倉市 各1回。

※延期・中止公演

いいだ人形劇フェスタ参加公演 他4か所＝中止

長野県茅野市民会館主催公演 他5か所＝2022年度へ延期

B. 「稲むらの火」

1箇所、和歌山県国民文化祭に公演参加しました。

C. 「一寸法師とおたのしみ交流会」

全国5か所（11ステージ）で公演しました。

①東京都・オリンピック・パラリンピック教育推進支援事業

東京稲城市1校2回、国立市1校2回

②文化庁・文化芸術による子供育成総合事業ユニバーサル公演事業

東京都国立市1校1回

③文化庁・子どものための文化芸術鑑賞体験支援事業

富山聴覚総合支援学校＝オンライン公演（1回）

④香川県とらまる人形劇場（4回）

⑤その他、埼玉県草加市（1回）

D. 「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」

①文化庁文化芸術による子どもの育成事業 巡回公演事業 10校で公演しました。
（東京都・茨城県・千葉県の小学校）

すべて事前ワークショップ付きです。

②東京・東村山市公演 12月11日 東村山市中央公民館（1回）

助成：文化庁AFF(Arts for the Future)

③その他、千葉県袖ヶ浦市、茨城県つくば市、各1回

E. 新作「百物語」を製作し、公演しました

公演時期：2022年3月18～21日（7ステージ）

会場：神奈川芸術劇場（KAAT） ※提携公演

演出：白神ももこ

出演：デフ・パペットシアター・ひとみ4人

外部パフォーマー4人

助成：日本文化芸術振興会、神奈川県マグカル推進事業補助金

<ろう高齢者施設訪問企画>

ろう者の高齢者施設の皆さんと一緒に、小さい作品を創り発表する企画です。

ファシリテーター・演出：花崎攝

出演：デフ・パペットシアター・ひとみ

内容：

・ヒアリング

川崎市在住のろうの方1人にお話を聞きました。（3日間）

・ワークショップ

愛知県春日井市のろう高齢者施設（訪問・2日間）

岡山県のろう高齢者施設（オンライン・1日間）

子どもころの遊びやろう学校での様子を伺い、絵を描いてもらいました。

・発表会

2021年12月19日 川崎市・大山街道ふるさと館

2021年12月23日 春日井市・文化フォーラム春日井

高齢者の方たちの絵をもとに、デフ・パペットシアター・ひとみが短い作品を創り発表しました。

※川崎と春日井の方たちは各会場で、岡山の方たちはオンラインで鑑賞しました。

<ワークショップ>

A. 「文化庁文化芸術による子どもの育成事業 芸術家の派遣事業」

全国2か所の学校（岩国市立高森小学校・奈良県立ろう学校）で行いました。

※中止：3か所（長野ろう学校・山梨県立ろう学校・室蘭ろう学校）

内容＝「のはらうた」

手話・人形・身体で、詩「のはらうた」を表現してみよう。

「○△□で何が出来る？」

3種類の形と身体表現を合わせ、どんな表現ができるか考えてみよう。

- B. 東京都・オリンピック・パラリンピック教育推進支援事業で以
都内5校でワークショップを行いました。(全8回)
内容＝「○△□で何が出来る？」3か所(3回)
「音・おと・オト・・・OT0～手作り音創り」2か所(5回)
- C. つくば市「はこ」公演の事前ワークショップを行いました。
内容＝「音・おと・オト・・・OT0～手作り音創り」1回
「はこBOXES」(箱と身体表現を使って何が出来るか考える)2回
- D. 「榎本トオル」ワークショップ
①成城学園小学校で1回行いました。
内容：「スイミー」の「お話をもとに、主に手を使って表現をしてみる」
②荏原平塚学園小学部で1回行いました。
内容：手を使って表現しよう
- E. 人形&楽器づくりワークショップ
屋久島の障害者施設にて1回行いました。

<その他>

- A. 日本ろう者劇団他との共同創作プロジェクトに、メンバーが参加しました。
期 間： 2022年3月28日～30日 ワークショップ
2022年3月31日 発表
進行・演出： 小野寺修二
参加メンバー： 榎本トオル、
主 催： 社会福祉法人トット基金
内 容： 身体だけの表現や、机や帽子・鞆などを使った表現のワークショップを
3日間行い、そのまとめを発表しました。
発表会場： 森下スタジオ(東京都江東区)、
※2018年からつづくプロジェクトの4年度目でした。
- B. かつしかろう学校で、演技指導を行いました。
講師： 榎本トオル
- C. 「デフパペットシアターひとみニュース」を発行しました。
(年4回。WEB掲載のみ)

13・建物賃貸事業

14・グッズ販売事業

公演時に、デフ・パペットシアター・ひとみのグッズ販売を行いました。

15・その他、定款に定められた事業の推進

